

地方創生に向けた官民協働の取組み

1



<所属団体>
福岡大学
<役職・氏名>
工学部 教授 渡辺亮一
<プロフィール>
1965年8月8日生（満51歳）
1996年3月九州大学大学院修了
1996年4月福岡大学工学部採用
（現在に至る）

<活動概要>

平成27年8月、長洲町・福岡大学・熊本北部漁業協同組合の3者で協定を締結。地方創生に向けた官民協働の取組みとして、フルボ酸鉄シリカ資材（水質浄化作用）を用いて、干潟環境の改善・水質資源（あさり貝等）の回復などによる有明海の再生を目指して、実証実験・研究をスタートさせている。

<具体的な取組み>

長洲海岸地先の干潟を試験区として、ヘドロが30~40cmに堆積した約2,000㎡の干潟の約50カ所にフルボ酸鉄シリカ資材を入れた袋を設置し、毎月、現地調査を実施している。これまでの調査結果では、堆積していたヘドロが減少し、砂地が出現したことで、干潟の環境改善・あさり貝の増加が確認されている。平成28年度は、新たな試験区を設置し、有明海の再生を目指して実証実験・研究を継続している。

2



<所属団体>
「金魚のまちあそび」
<役職・氏名>
代表 村田 明彦
<プロフィール>
一級建築士
（株）村田建築設計所長

<活動概要>

金魚養魚場の後継者や地元で活動する若手建築士、管内の高校に通う女子高生など、地元に住む若者が集まって、長洲町の金魚をどのように町内外へPRし、まちづくりに取り組めるかを考え、行動する組織として「金魚のまちあそび」を設立し、活動中。

定期的に会議を開催し、個人のアイデアや取り組みなど、様々な意見交換を図りながら、町の施設である「金魚の館」を核としたまちづくりを推進する。

今後、「金魚の館」のサテライトキャンパスなどを活用して活動していくとともに、崇城大学や熊本県デザイン協会などの組織と連携して、金魚をはじめとした地域資源を活かしたまちづくりイベントも予定している。

お問合せ（総合窓口） 長洲町 まちづくり課

担当者 企画調整係長 西村裕樹

連絡先 0968-78-3239

メール kikaku@town.nagasu.lg.jp